

製品名: C/EBP ζ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07710**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	CEBPZ
別名	CEBPZ; CBF2; CCAAT/enhancer-binding protein zeta; CCAAT-box-binding transcription factor; CBF; CCAAT-binding factor
遺伝子 ID	10153.0
SwissProt ID	Q03701
免疫原	抗血清はヒト CEBPZ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

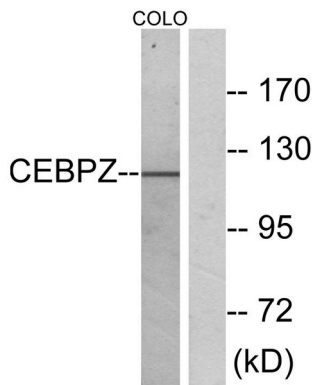
この遺伝子は CEBP ファミリーに属する。コードされるタンパク質は、熱ショック因子、保存された DNA エLEMENT (ヒートショック

クエレメントまたは HSE) 、および CCAAT ボックスが関与する転写プロセスを通じて、環境刺激に対する細胞応答に関与する。このタンパク質は DNA 結合転写活性化因子として機能し、CCAAT 依存的に熱ショックタンパク質 70 (HSP70) プロモーターを制御する。また、このタンパク質は細胞の増殖および分化、特に造血分化にも関与している。この遺伝子のプロモーターのメチル化または遺伝子内の変異は、急性骨髄性白血病 (AML) の発症と相関している可能性がある。[RefSeq 提供、2016 年 6 月]、機能: HSP70 プロモーターからの転写を刺激する。類似性: CBF/MAK21 ファミリーに属する。

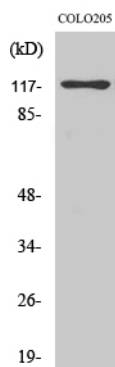
研究分野

-

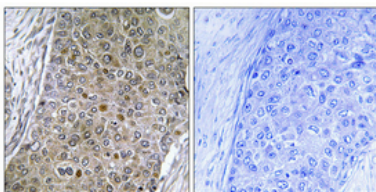
画像データ



CEBPZ 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



C/EBP β ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。